



# 「小山市」

ユネスコ無形文化遺産登録の本場結城紬でも知られる「開運のまち」

豊臣の世から徳川の時代へ。大河ドラマで人気のこの時代、徳川 300 年の泰平の世を決定づけた天下分け目の軍議「小山評定」にその名を残すのが小山です。さらに時代をさかのぼれば鎌倉幕府成立の契機となった、平氏から源氏へ覇権が動く口火となった「野木宮合戦」に勝利したのも小山武士でした。

このように古くから歴史の転換に大きな影響を与えた小山は今、豊かな自然と長く培われた技術が生み出す農畜産物や本場結城紬、そして小山の歴史等をブランドとして県内に先がけて平成 13 年より全国に発信しています。最近では、JR 小山駅前のビル「ロブレ」に関東最大級の子どもの運動遊び場「キッズランド おやま」や本場結城紬の魅力を発信する拠点「おやま本場結城紬クラフト館」をオープン。情報の発信力を強めています。

この夏のリオデジャネイロ五輪で、日本代表に選出された競泳の萩野公介選手と柔道の海老沼匡選手の出身地でもある小山市。さまざまな魅力にあふれた街を、ぜひ訪ねてください。

### News

▼島田会場

**田んぼアート**  
豊かな小山の田んぼを大きなキャンパスに見立て、色鮮やかな稲穂でさまざまな絵を描きだします。平成 23 年度に始めて以来、今年で 6 回目を迎える恒例行事となりました。今年は 3 つの会場（島田・下生井・絹）で巨匠・手塚治虫先生の人気アニメ「ブラック・ジャック」「ジャングル大帝」「鉄腕アトム」が田んぼを大きく彩ります。

▼絹会場

田んぼアート 下生井会場



小山市キャラクター  
政光くん・寒川尼ちゃん

## ラムサール条約湿地 渡良瀬遊水地の湿地環境の保全と活用

コウノトリ・トキの野生復帰



渡良瀬遊水地第二調節池

湿地環境保全のための「三焼き」

渡良瀬遊水地体験学習

エコミュージアム化の一環・ヨシ舟体験

ラムサール条約は地上のすべての生きものと人間の健康な暮らしに欠くことのできない湿地を守り、賢明に活用することをめざしています。渡良瀬遊水地は平成 24 年 7 月に、ラムサール条約湿地に登録されました。渡良瀬遊水地は水害から暮らしを守るための治水と、首都圏の水がめとしての利水を目的に整備されたもので、約 3,300ha の面積を誇る国内最大の遊水地であるとともに、本州以南最大の湿地として絶滅危惧種 183 種を含む多くの動植物が生息・生育する「自然の宝庫」です。このうち小山市には第 2 調節池の約 300ha が属し、世界に誇れる小山市の「宝」、そして「ブランド」として市民から愛されてきました。市では、渡良瀬遊水地の湿地環境の保全及び賢明な活用を図るため、第 1 に治水機能確保を最優先とした「エコミュージアム化」、第 2 にコウノトリ・トキの野生復帰、第 3 に環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進を「賢明な活用の 3 本柱」として、その推進に努めています。



●小山評定跡  
上杉景勝征討のため会津へ北上中の徳川家康が、石田三成挙兵の報を受け、諸将と軍議の末に反転・西上を決めた地が、小山です。家康はこの軍議で東軍の結束を固め、関ヶ原での大勝につなげました。現在は、市役所敷地内に石碑が残っています。

◀市役所敷地内の評定跡の碑

開運のまち おやま  
現在、小山市では、鎌倉・江戸、2 つの幕府成立に道筋をつけた輝かしい歴史を「開運のまち おやま」として全国に発信しています。



●思川  
市の中心部を貫流する清流・思川は、市のシンボル。7 月初旬には、浴衣姿の子どもが下野人形を乗せた舟を流す「思川の流しびな」が行われたりします。

流しびな▶



おやまサマーフェスティバル  
今年で 65 回目を数える、小山市の夏の一大イベント。今年は 7 月 30 日・31 日に開催され、30 日のオープニングカーニバル（前夜祭）の後、31 日の花火大会では 2 万発の花火が会場となる思川河畔を彩ります。

●キッズランドおやま  
今年 5 月に JR 小山駅前「ロブレ」のビル 5 階にオープンした、乳幼児から小学生の子どもたちが親子で楽しめる屋内の遊び場施設。関東最大級の施設面積を誇り、「アクティブゾーン」「ボールプールゾーン」「絵本コーナー」などで子どもの運動機能向上と心を豊かにする働き、両面が期待できます。



本場結城紬  
小山市東部、鬼怒川沿いの地域を中心に手作業で生産される高級絹織物で、軽くて温かく、柔らかな風合いが魅力。昭和 31 年国の重要無形文化財に、平成 22 年ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。



●道の駅思川  
豊かな自然と高い技術が生み出すおやまブランドの普及と、地産地消・食育の推進・情報発信の施設として平成 18 年にオープン。



●おやまブランド  
おやま和牛・おとん・いちご・かんぴょう等の市内産物の農畜産物や地酒等の加工品、結城紬、間々田ひも、下野人形等の伝統工芸品、そして小山原産の思川桜や小山評定の歴史など、7 つの分野にわたって小山市のブランド化を推進し、全国に発信しています。

おやま和牛▶



### profile

●小山市  
県の南部、東京圏からはわずか 60 キロに位置する小山市は、東西・南北に交差する国道に加え、新幹線が停車する、北関東の交通の要衝の一つとなっています。豊かな自然にも恵まれた小山の地には古くから人々が集い、さまざまな歴史の舞台ともなっており、今も市内には 7 か所もの国指定の史跡があります。市は、平成 17 年に人口が 16 万人を突破、さらに 27 年の国勢調査（速報値）でもその増勢は続いており、県内第 2 の「南都」として躍進を続けています。

▶面積：171.76 平方 km  
▶人口：166,381 人（69,006 世帯）